

「海岸周辺の地図作り」「野鳥の観察」「石や土の比較」「海岸周辺の植生」に関わるものが多かった。そのため、調査場所は子供たちの追究課題に対応できる地域として、相馬市の松川浦周辺を選んだ。

イ グループごとに、課題を解決するための調査内容や方法、準備物について話し合った。

ウ 移動教室では、自分たちで計画を立てた方法や準備物で調査活動を実施した。つりをしたり、実際に磯や干潟で生物を捕ったりする活動が中心であった。また、松川浦周辺を歩き、地図作りに取り組む子供たちも見られた。さらに、この活動を通して次のような特徴的な様子が見られた。

- ペットボトルに干潟と河口周辺の土をとり見比べる。
- つりをして捕らえた魚の種類による模様やひれの特徴を比べる。
- 磯の生き物の種類と分布について地図にまとめる。
- 海藻を採り、塩水と砂糖水、水の中に置いた時の変化を見る。
- とった生物について、図鑑を活用して種類や特徴を調べて分類する。



〈海藻を採取し、特徴を調べる子供たち〉

エ 移動教室後は、調査した結果をまとめ、発表交流会をした。まとめ方は、項目ごとに整

理して図表にまとめたり、地域自慢のポスターを作ったりする姿も見られた。また、ガイドブック作りに取り組む子供も見られた。この活動を通して、自分たちが住む地域のよさや特徴について理解を深めていった。

3 第5学年スバルタイム

『森と共に生きる』

(1) 活動の概略

① ねらい

原町市と他の地域との動物や植物の生育の特徴や土壌・岩石の特徴、水質の違いなどについて比較調査をすることを通して、自分の課題を主体的に解決するとともに、自分たちの住む地域についての理解を深め、自分ができることを実践しようとする態度を育てる。

② 活動の様子

ア 社会科の「稲作のさかんな地域」「野菜作りのさかんな地域」や理科の「植物の発芽と成長」の学習をもとに、自分たちの周りの自然環境について見直し、個人の課題を設定した。

イ 調査対象ごとに小グループを作り、原町市について調べる計画を立て、調査した。

ウ 移動教室で、比較対象の場所として設定した磐梯山周辺や裏磐梯の湖沼群、猪苗代湖での調査活動を実施した。(二泊三日)

エ 移動教室の後で、会津地方の調査活動の簡単なまとめをした上で、原町市の自然環境についてももっと詳しく調べてみたいと考え、再度調査活動を実施した。スバルタイムの時間を活用し、子供たちにとって身近な水無川を調査場所とした。子供たちの調査対象は、水質、水生生物、樹木・草花、岩石・土などであった。この活動を通して、次のような姿が見られた。